

○ 株式会社平田牧場は、環境保全型農業の試みである「飼料用米プロジェクト」の一環として、飼料用米の生産において自社の豚から発生する排せつ物を堆肥として活用。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・ 豚ふん
- ・ 種類：特殊肥料 (豚ふん堆肥)

■ 取組の経緯・内容・成果

取組の経緯
 ・ 2004年から、(株)平田牧場は遊佐町や生活クラブ生協と協同し環境保全型農業の試みである「飼料用米プロジェクト」の取組を開始。米どころである山形県庄内地域において、休耕田を利用し自社の豚に給与する飼料用米を生産する際、豚から発生する排せつ物を豚ふん堆肥として活用。

■ 作物 ■ 主成分の含有量 (%)、特徴等

- ・ 飼料用米
- ・ 水稲
- ・ アスパラガス
- ・ 枝豆
- ・ 柿
- ・ 他、多数

N	P	K	C/N比
2.1	9.8	2.7	13
1.8	7.3	2.2	14

上段：切り返し方式、下段：コンポスト方式
 堆肥にはおが粉、もみ殻等を副資材として使用

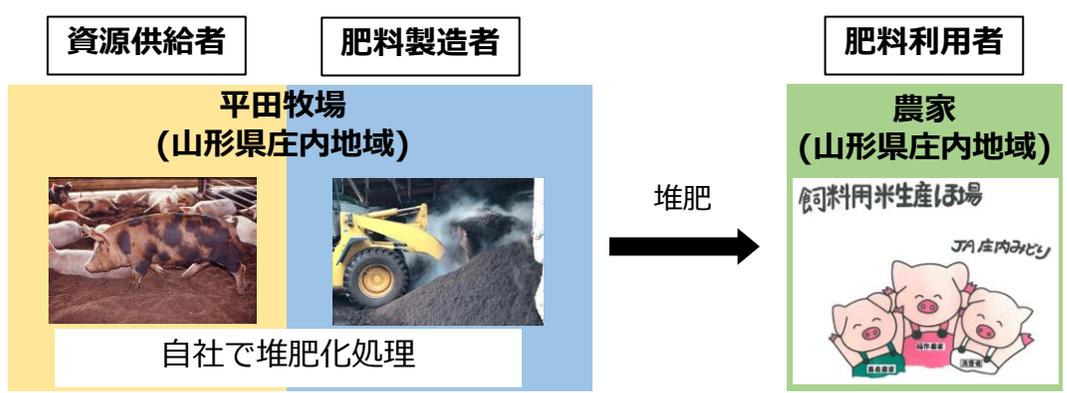
取組の内容

・ 豚ふんは自社にて完熟有機堆肥とし、戻し堆肥として豚舎の敷材としてリサイクルする他、飼料用米生産をはじめ地域へ還元。また、庄内地域において特別栽培米の生産にも活用し、自社の飲食店にて提供している。

成果

・ 飼料用米生産をはじめ、地域への還元によって地域内資源循環を確立。
 ・ 安全・安心な飼料を食べ、健康に育った豚の豚ふんから生産された堆肥は、農家から高品質と評価が高い。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・ 農家の高齢化により年々堆肥の利用が減少していることから、取り扱いの向上を目指し、ペレット化も検討。
- ・ 持続可能な社会の実現に向け、今後とも飼料用米を中心とした循環型農業に取り組んでいく。

